

## スウェーデン王太子、ご婚約



スウェーデン・ティンメナッペン在住

藤倉・カールソン・篤子

2月24日に現在王位継承権第一位のヴィクトリア王女（31歳）が6年来のボーイフレンド、ダニエル・ヴェストリング氏（35歳）との婚約を王宮府にてメディアに発表されました。「スウェーデン憲法に従い政府の承認が得られたので国民に婚約の受諾報告をします」と王女は微笑みをかみしめながら語られました。

スウェーデン現国王カール16世グスタフとシルビア王妃は3人の子供に恵まれ、第一子がヴィクトリア王女（31歳）、第二子はカール・フィリップ王子（29歳）と末のマデレーン王女（26歳）と皆それぞれ美しくお年頃です。三人とも長く付き合っているお相手がそれぞれいることはメディアを通じて知っているけれど、開かれた王室を持つ国の国民として皆それを自然に受け止めています。スウェーデン人は家族関係に関してはかなり現実的に考えますが、王太子であるヴィクトリア王女が先に結婚することになって年下で控えている弟妹君はほっとしているだろう、と思う人は沢山いたと思います。翌日私の職場でもコーヒータムの話題は久しぶりに王室のことで盛り上がりました。前菜の「まずは、めでたしめでたし」に始まって「婚約に政府の承認が必要なんて時代遅れじゃない？」と言う人あり、このまま立憲君主制を続けるべきか共和国に移行すべ

きか…とお決まりの政治の話までフルコースでした。北欧5カ国のうち、デンマーク、ノルウェー、スウェーデンは王/女王を君主とする立憲君主制、フィンランドとアイスランドは大統領（現在はどちらも女性大統領）を国家元首とする共和国です。

現スウェーデン国王はもともとスポーツをするのも見るのも大好きで、シルビア王妃ともスポーツを通じて出会われています。当時まだ王太子だった国王がミュンヘンオリンピック（1972年）でスウェーデンの応援に駆けつけた時、語学堪能なコンパニオンだったシルビア嬢と「目と目のシャッターがカチッと鳴って一目で恋に落ちた」という御伽噺のようなエピソードはスウェーデンで知らない人はいません。ヴィクトリア王女の婚約者、ヴェストリング氏は若い実業家でスポーツジムのオーナー。二人の出会いは王女がそのジムにトレーニングに通ったからだそうです。カチッとシャッターの音はならなかったけど、信頼から時間をかけて愛情を育ててきたの、と王宮府でのインタビューでは婚約に至るまでの流れをお二人で丁寧に答えられていました。

ヴィクトリア王女が現国王御夫妻の第一子としてご誕生された頃（1977年）はスウェーデンでは男子にしか王位継承権がありませんでした。2年後に弟君のフィリップ



# "Det blev ett ja, ja, jaaa!"

ご両親陛下のようにカチッとではなく、「イエス、イエス、イエス！」と結婚を決められた。お二人による国民に対しての婚約受諾報告

プ王子がご誕生され、1980年にスウェーデン議会は「性別に関わり無く年長順に」王位を継承できるように憲法を改正し、ヴィクトリア王女が正式に女性王太子となりました。この法律改正は「スウェーデン的男女平等価値観の実情に法律が合わなくなってきた一例」として捉えられていて、議会でも特に激しい議論なく決定されたそうです。男子がお生まれになった後に王位継承権に関する法律があえて変えられたのはスウェーデンが世界で初めてのことだそうです。ヴィクトリア王女と新プリンスになられたヴェストリング氏の結婚式は2010年の初夏に予定されています。この結婚式の費用は税金か、それとも花嫁の父である国王が自らの財産で賄うのか…などというスウェーデンらしい話題も夕刊を賑わしています。開かれた王室としてはこうした世論とも向き合いながら来年のご結婚に向けて動かれるでしょう。